

第12回 吉野町地域公共交通協議会 議 事 録

日時： 平成24年2月8日(水) 10:00~

場所： 吉野町中央公民館第3・4研修室

出席者：

所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官	土本 美和子	
奈良県土木部道路・交通環境課 主幹	吉岡 一茂	
奈良県土木部道路・交通環境課 主事	富家 崇雄	
吉野土木事務所 計画調整課 課長	山田 晃也	
吉野町区長連合会 会長	上田 泰助	
吉野町老人クラブ連合会 会長	南 幸雄	
吉野警察署 交通課係長	松石 康志	
奈良県交通運輸産業労働組合協議会 幹事代理	梅崎	
社団法人奈良県バス協会 専務理事	西本 光良	
奈良交通株式会社 運転者派遣センター長	中前 浩也	
奈良交通株式会社 吉野営業所長	中西 昌勝	
吉野町タクシー協会 上市部会長	戌亥 一男	
吉野町教育委員会 教育総務課 課長	奥出 亘	
吉野町 副町長	小松 正	会長
岸野都市交通計画コンサルタント(株)代表取締役	岸野 啓一	
吉野町企画政策課 課長	芳田 賢二	
吉野町企画政策課 課長補佐	上林 勝則	事務局
吉野町企画政策課 主査	井上 紀子	事務局

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 出席者座席表
- ・ 資料1 協議会委員の変更について
- ・ 資料2 平成23年度スマイルバス利用状況について
- ・ 資料3 吉野町スマイルバス実証運行3カ年のまとめについて
- ・ 資料4 平成24年度ネットワーク計画について
- ・ 資料5 平成23年度計画事業に係る事後評価について

1. 開会

2. 会長あいさつ

(会長)

おはようございます。第12回吉野町地域公共交通協議会に早朝よりご参集くださいます。ありがとうございます。3年間の実証運行がこの3月で終わろうとしています。これまで順調に運行しているのも皆様のおかげです。貴重なご意見を賜りまことにありがとうございます。先日の会計検査におきましても何事もなく終了いたしましたこと誠にありがとうございました。

今日の会議の議題にもございますとおり、今後ともスマイルバスを存続して運行できますように建設的なご意見をいただければありがたいです。よろしく申し上げます。

3. 委員紹介 別紙参照

4. 議題

【1】協議会委員の変更について・・・資料1参照

(事務局説明)

資料1に基づき担当説明

(会長)

ご承認いただけますか。

(委員)

異議なし

【2】平成23年度スマイルバスの利用実績について・・・資料2参照

(事務局説)

資料2に基づき上林担当説明

(委員)

6ページ資料で南国栖から入野の最終便の利用者が0人であるが、朝の利用者は何人かいる。帰りはバスを利用していないのか。

(事務局)

おそらく最終便を使わずその前の便を利用しているか、帰りは迎えに来てもらっているか、どちらかと思われる。こちらで示した表では判断できません。

【3】吉野町スマイルバス実証運行3カ年のまとめについて・・・資料3

(事務局説明)

資料3に基づき説明

(会長)

実証運行のまとめについて説明いただいたが、まだまだ改良しなくてはいけない点も多い。吉野町の職員が率先してスマイルバスに乗ることや、ノーマイカーデー等に行っても検討している。多くの町民のかたに利用いただける機運を高めていきたい。この3年間において、運行事業者さんが事故もなく適正に運行いただいたことをあらためて感謝申し上げたい。各委員の皆様にご意見を賜りたい。

(委員)

定員がオーバーして、乗れなかった積み残しも発生したと聞いているがそれについて教えてほしい。

(事務局)

小型車両で運行している龍門巡回線において、月曜日等の病院の通院時に3・4回発生しているが、運転手からの報告でフォローの車を手配し対応している。このような事態が多く続くようであれば車両の大きさ等も検討しなければならないと考えている。

(コンサルタント)

その時間帯にスクール輸送でバス車両の空きがないこともあり、今後のダイヤ改正時において検討課題としたい。

(委員)

資料3の調査結果の概要において、利用者の87%が60歳以上となっているが男女比率はどうなっていますか。

(事務局)

87%の8割が女性です。

(委員)

今の70歳以上の高齢者の女性の免許の保有率は少ないが、今後は女性の免許保有率が高くなることが予想されるのでバスの利用者がどうなるかが懸念される。

【4】平成24年度生活交通ネットワーク計画について・・・資料4

(事務局説明)

資料4に基づき上林担当説明

(会長)

ただいまの計画に関しましてご質問がございますか。

奈良運輸支局 土本専門官より補足説明ございませんか。

(専門官)

今回出していただく計画は、平成24年4月から9月までの24年度分と平成24年10月から平成25年9月までの平成25年度分と平成26年度分の3カ年計画を出してもらうことになる。3年間の計画となるので年々増加するような計画になれば良いと思う。

(会長)

ただいまご説明いたしました、平成24年度生活交通ネットワーク計画についてご異議ございませんか。

(全員)

異議なし

【5】平成23年度計画事業に係る事後評価について・・・資料5

(事務局説明)

資料5に基づき上林担当説明

(会長)

ただいま事務局より説明のありました、平成23年度の事後評価につきまして委員の皆様よりご意見を頂戴していただいております。

(各委員)

異議なし

(会長)

ご承認ありがとうございます。

最後になりますが、各委員の皆様はこの機会にご意見をいただければとっております。

(委員)

先ほどの積み残しの件ですが峰寺から役場前まで発生しており、その場合は運転手から事務所に連絡が入り、後続便として車両をすぐに手配しています。今後も、安全で快適な運行を心がけて運行を行っていきたいと考えています。

(委員)

社内でもコミュニティバスの安全で安心な運行を心がける努力をしています。今後ともよろしく申し上げます。また路線バスの運行についてもご協力をお願いします。

(委員)

3年間の実証運行において、利用状況の把握・利用者の要望の調査、アンケート結果の分析をサービスの改善に結び付けているように思われる。町の人口に比して年間26000人の利用は2.6回以上となり、先日の日経新聞での全国の800の市町村のコミュニティバスの利用が1回未満が47.8%、1回から2回が27%で75%の市町村が2回までの利用なのでこの報告ではかなり頑張っているように思われる。平成24年度からの運行についても利用促進を図っていただきたい。

平成23年の町民各戸に配布したお試し券の回収枚数はどれくらいだったのか。

(事務局)

約500枚使用いただいている。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。議論も出尽くしたようでございます。

吉野町がスマイルバスを継続して運行していくことが職員の願いでもあります。

来年度から始まる、本格運行に関しましても皆様のご協力を賜り、スマイルバスの利用拡大と安全で安心なコミュニティバスの運行を目指していきたいと考えております。忙しい時期にお集まりいただき、本当にありがとうございました。